

「刷新本部」立ち上げへ

首相、裏金疑惑解明語り

岸田文雄首相は4日、首相官邸で年頭記帳を開き、「自民党のパーティー券収入による裏金疑惑を踏まえ、国税と総裁直属の機関として「政治刷新本部」(仮称)を来週にも立ち上げると表明、一月中に中間的な取り組みとして、政治資金パーティーの収支を算定して監査する

岸田文雄首相は4日に年頭記帳を開き、「自民党のパーティー券収入による裏金疑惑を踏まえ、国税と総裁直属の機関として「政治刷新本部」(仮称)を来週にも立ち上げると表明、一月中に中間的な取り組みとして、政治資金パーティーの収支を算定して監査する

岸田首相は、改憲にならず閣僚法案を(国会に)提出する」と述べました。

岸田首相は、党執行部を中心とした若手や外部有識者も参画する形で議論を進めていく考えを示しました。今後

の具体化を進め、党派を超えた議論を加速

められる」と述べました。

岸田首相は、改憲に

ついて、自民党総裁と

して「自分の総裁任期中に改正を実現したいとの思いに変わりはない」と強調。条文案

に付けることなどをあげましたが、疑惑の解明については具体的に語りませんでした。

岸田首相は、改憲に取り組みも「待ったなしでした」と述べ、大軍拡

化も経済安全保障への取り組みも「待ったなしでした」と述べ、大軍拡推進の立場を示しました。

また、岸田首相は、能登半島地震について、避難の長期化が懸念されるなか「被災者の生活となりやすいじつかりと支えていく、息の長い取り組みが求められる」と述べました。